

製品名: SQSTM1/p62 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03626**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 62 kDa

抗原情報

遺伝子名	SQSTM1
別名	p60; p62; A170; DMRV; OSIL; PDB3; ZIP3; p62B; NADGP; FTDALS3
遺伝子 ID	8878
SwissProt ID	Q13501
免疫原	ヒト SQSTM1/p62 の組み換えタンパク質

背景

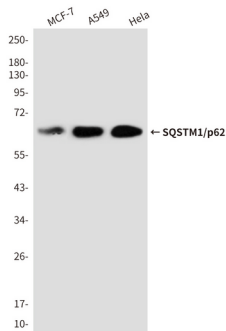
オートファジー受容体は、分解対象となる貨物と MAP1 LC3 ファミリーのオートファジー修飾因子の両方と直接相互作用します。ALIS (アグリソーム様誘導構造) と呼ばれるポリユビキチン含有小体の形成とオートファジー分解の両方に必要であり、ALIS を

オートファジー機構に連結します。ミッドボディリングの分解に関与しています。TNF- α 、神経成長因子 (NGF)、およびインターロイキン-1 による NFKB1 の活性化を制御する可能性があります。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



SQSTM1/p62 抗体を使用した MCF-7、A549、および HeLa 溶解物中の SQSTM1/p62 のウェスタンブロット分析。